



初めての 議会傍聴

(原町区/齋藤 実さん)

この度、初めて南相馬市議会を傍聴する機会を得て、第7回南相馬市議会定例会での一般質問を本会議場で拝見いたしました。

初めの議員さんの質問は、震災後に悪化したと言われている交通渋滞緩和対策と有害鳥獣対策についてでした。交通渋滞の問題は行政側の回答によると、対策は講じているものの問題の解決には繋がっていないようでした。一方、有害鳥獣対策は、ハンターの減少や高齢化など複数の問題があるため、行政としても困っているとの回答でした。今後もこの問題は悪化していくと予想されますので、一般市民のハンター養成が必要ではないかと感じました。

次の議員さんの質問は、主に予算編成と医療介護に関する内容でした。予算に関してはきちんと執行していただくことが大切ですから、こうした場で議員からチェックが入ることは好ましいことだと思います。また、後半の医療介護に関する質問は、きちんと問題点を整理し、市の方針を一つ一つ丁寧に確認していく手法でした。特に准看護師が不足している現状をきちんと解決しようという行政側の姿勢や考えを引き出すやり方は、高く評価できると思いました。

今後も機会があれば議会を傍聴し、市民として議員さんや行政担当者と話ができる機会があればと思います。

例年になく穏やかな気候の正月となりました。
平成28年1月1日は、南相馬市にとっても節目の日でした。原町市、小高町、鹿島町の1市2町による合併で南相馬市が誕生し、10周年を迎えました。
当時、私は社会人1年目の新人として、北海道で現場の取材に悪戦苦闘していたことを思い出します。遠くから故郷を見守る一人だったわけですが、南相馬市の誕生の背景には、合併を通じて地域の未来を切り拓き、あらたな一歩を踏み出そうという先人たちの多大な労苦があったのだらうと想像いたします。
南相馬市議会広報特別委員会も、10周年をきっかけに、広報誌のリニューアルの検討を始めました。合併という大仕事からすると、小さな挑戦かも知れませんが、しかし、より多くの方に「議会でのような議論がなされているのか」「市民の抱える課題がどのように反映されているのか」が伝わり、さらには多くのご意見をお寄せ頂くきっかけになることはとても大切なことです。委員や議員が協力し合い、手に取っていただける紙面を目指してまいります。

但野 謙介

3月の定例会（予定）

- 3月2日(水)
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・議案の提出及び説明
- 3月7日(月)・8日(火)・9日(水)
本会議…一般質問
- 3月10日(木)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 3月14日(月)・15日(火)・16日(水)
常任委員会…総務、文教福祉、建設経済
- 3月24日(木)
本会議…委員長報告（質疑、討論、表決）

※この日程は変更されることがあります。

議会を傍聴する際には、日程をご確認ください。

● 問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録（本会議）などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信（本議会のおおむね5日後）でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスから市議会へアクセスしてみてください。

南相馬市ホームページ

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

○ 請願・陳情の提出をされる方へ：次回の3月定例会においては、2月24日(水)午後4時までに提出してください。

広報特別委員会



副委員長

〔広報特別委員会〕 田中 京子、岡崎 義典、太田 淳一、

委員長

田中 一正、今村 裕、但野 謙介

編集後記

例年になく穏やかな気候の正月となりました。

平成28年1月1日は、南相馬市にとっても節目の日でした。原町市、小高町、鹿島町の1市2町による合併で南相馬市が誕生し、10周年を迎えました。

当時、私は社会人1年目の新人として、北海道で現場の取材に悪戦苦闘していたことを思い出します。遠くから故郷を見守る一人だったわけですが、南相馬市の誕生の背景には、合併を通じて地域の未来を切り拓き、あらたな一歩を踏み出そうという先人たちの多大な労苦があったのだらうと想像いたします。

南相馬市議会広報特別委員会も、10周年をきっかけに、広報誌のリニューアルの検討を始めました。合併という大仕事からすると、小さな挑戦かも知れませんが、しかし、より多くの方に「議会でのような議論がなされているのか」「市民の抱える課題がどのように反映されているのか」が伝わり、さらには多くのご意見をお寄せ頂くきっかけになることはとても大切なことです。委員や議員が協力し合い、手に取っていただける紙面を目指してまいります。

但野 謙介